

# コロナ禍の学生支援へ寄付

## 名古屋キワニス 4大学に合計320万円

名古屋キワニスクラブ(相羽博文会長、東郷製作所専務)はこのほど、名古屋市中村区の名古屋マリottアンソニアホテルで、「キワニスワンデー学生支援寄付」の贈呈式を開き、愛知県内の4大学に対して、新型コロナウイルス感染症拡大で困難な状況に置かれた学生への支援金として各校80万円、合計320万円を寄付した。式典は同クラブの例会の中で行い、約80人の会員が出席した。

(吉川英司)

キワニスワンデーは、毎年10月の第4週ごろに全世界のキワニスクラブがそれぞれ行う奉仕活動。名古屋キワニスクラブによるコロナ禍で困窮する大学生への寄付は、昨年が続く取り組み。昨年の名古屋市内3大学への寄付から、今回は国立大学法人愛知教育大学(刈谷市)、同豊橋技術科学大学(豊橋市)、愛知県立大学(長久手市)、愛知県立芸術大学(同)の4大学への寄付に拡大した。



あいさつする相羽会長

寄贈を受けて、各大学の代表者が感謝の言葉を述べた。

愛教大の岩山勉副学長は「教育実習のハードルが高くなっているが、学生に抗原検査をした上で実習先に送り出している。大学は学ぶだけでなく、学生同士のコミュニケーションや、アルバイトを通じた人生経験も大切。それが難しくなっており、困窮する学生もいる。支援は本当にありがたい」と話した。

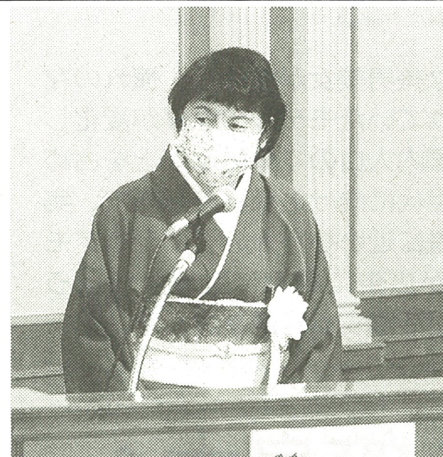
愛知県立大の久富木原玲学長は「4年間しかない大学生生活の中で、学生たちは2年間ほとんど大学に來れない状況が続いた。だが、100年に1度のパンデミ



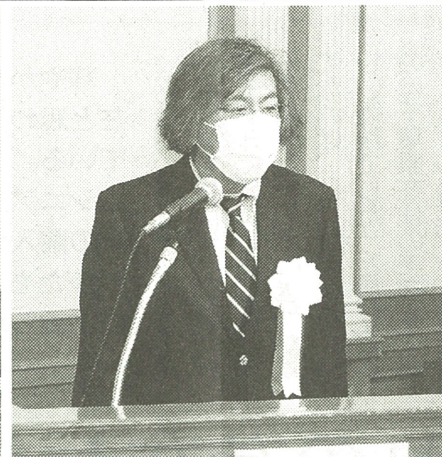
愛知県内4大学に学生への支援金を寄付した

豊橋技術科大の角田範義副学長は「本学の学生は高等専門学校出身者がほとんど。科学や技術に秀でるが、とんがりすぎている面もある。科学的な教育にも力を入れている」と、大学の教育方針を説明するとともに支援に感謝した。

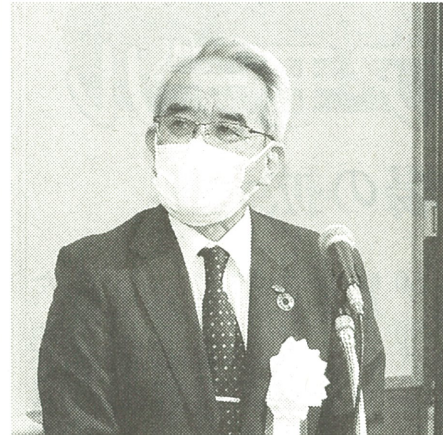
豊橋技術科大の角田範義副学長は「本学の学生は高等専門学校出身者がほとんど。科学や技術に秀でるが、とんがりすぎている面もある。科学的な教育にも力を入れている」と、大学の教育方針を説明するとともに支援に感謝した。



愛知県立大の久富木原学長



愛教大の岩山副学長



豊橋技科大の角田副学長



愛知県芸大の戸山学長

### 苦境の学生救って 4大学に各80万円 名古屋キワニスクラブ

子どもの福祉向上や教育支援を行う社会奉仕団体「名古屋キワニスクラブ」(中村区名駅一)は二十二日、新型コロナウイルス禍で困窮する大学生を支えようと、県内に本部を置く四大学に各八十万円を贈った。



相羽会長(右)から目録を受け取る県立大の久富木原学長(左)。名古屋キワニスクラブのオットアソシアホテルで。

同区内のホテルで贈呈式があり、愛知教育大(刈谷市)、県立大(長久手市)、県立芸術大(同市)、豊橋技術科学大(豊橋市)の代表者に、同クラブの相羽博文会長(東郷製作所専務取締役)から目録が手渡された。

相羽会長は「学生は緊急事態宣言が解除されても経済的に厳しい状況にある。少しでも希望を持って生活してほしい」とあいさつ。県立大の久富木原玲学長は「貴重な学生生活四年間のうち、学生は約二年もまともに大学に通えていない状況。心のこもった贈り物に感謝したい」と述べた。同クラブには百四十二人の会員があり、毎年十月下旬に「キワニスワンデー」と称しさまざまな奉仕活動をしている。昨年度も同様に名古屋市内の三大学に各百万円を贈った。

### 困窮学生を支援 4大学に寄付金 名古屋キワニスクラブ

社会奉仕団体「名古屋キワニスクラブ」(相羽博文会長)は22日、コロナ禍で経済的に困窮する学生を支援するための寄付金の贈呈式を名古屋市内のホテルで行った。写真。

今回は、愛知教育大(刈谷市)、県立大(長久手市)、県立芸術大(同市)、豊橋技術科学大(豊橋市)の4大学にそれぞれ80万円寄付した。

相羽会長は「次世代を担う若者が経済的な困窮の中にあっても、希望を持って学問に取り組めるように支



援を決断した」と話した。久富木原玲・県立大学長らは「100年に1度のパンデミックといわれる中で学生たちには今できることを頑張ってもらいたい」などと述べた。